



2012

11

No.484



理念

130年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と
意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・
予防医療を中心に
医療機能の
充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関
との連携を行い
安心できる医療の
展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・
医療情報公開・
医療ボランティアの
活動を行います

医療人育成

医療に携わる
喜びが持てる
医療人の育成を
行います

「患者図書室プロジェクト」寄附対象施設に決定しました！



イメージ図

当院の「患者さま用図書室」は、平成17年11月に開室しました。ボランティアさんのお力添えをいただき、開設当初は院内外から様々なジャンルの蔵書が集まり、約2000冊の本を揃えていました。また同室ではストーンクラフトや川柳句会、ぬり絵、アロマテラピーなど、入院・外来患者さんと地域住民オープン参加型のレクリエーションを開いてきました。平成20年には「こもれば」という愛称も決定し親しまれておりましたが、平成23年1月から始まった病院建替え工事に伴い、同5月から「図書コーナー」へと規模縮小しています。（ボランティアさんのご協力のもと、レクリエーションは現在も毎週木曜日に開催中です）「患者図書室プロジェクト」とは、社会保険病院九州ブロック管理者会議においてもご紹介頂きましたが、NPO法人「医療の質に関する研究会」（日野原重明名誉理事長）が平成20年度から5年間で合計50病院に患者図書室を寄贈するという企画で、寄附対象は図書（患者向け医学図書および標準的医学書）700冊、

運営に必要なシステム、室内装飾（家具全般）という内容です。患者さんが自ら学べるシステムの開発と普及に努め、患者さんと医療提供者が連携して『協働の医療』を促進することを目的としており、当院ではこのプロジェクトに賛同し、2012年度の全国公募に応募しました。そして審査の結果、寄附対象施設に選ばれました。

新病院では本館2階に「患者図書室」を設置し、来年5月にオープン予定です。以前の図書室よりも、蔵書そして環境の充実を図ることを考えていましたので、今回このプロジェクトの力もお借りしながら、「患者図書室」が病院内のみならず、当地域の「PATIENT & FAMILY LEARNING CENTER」となることを期待しています。

また、図書室では受付業務等のお手伝いをして下さるボランティアさんを同時募集いたします。今後のよりよい図書室運営を一緒に考えていただける地域の方々の参加をお待ちしています。

経理課 那須 智子

第50回日本社会保険医学会総会に参加して

11月8日・9日に石川県金沢市において、金沢社会保険病院 病院長 喜多一郎会長のもと、第50回日本社会保険医学会総会が開催されました。昭和38年の第1回総会から数えて、今回は第50回という節目の学会でした。

メインテーマを「新しい地域医療の推進～医療と福祉・介護の連携～」と題された今回の学会では、470の一般演題のなか、当院は10の演題で参加して参りました。また、シンポジウム「求められる地域医療のために」では、当院産婦人科部長・腫瘍センター長の 大竹秀幸医師より、「がん診療連携に対する当院の取り組み」と題した発表がありました。

会長挨拶では、地域住民に対して「住み慣れた地域」内で医療・福祉・介護サービスなどのすべてを継続的・包括的に提供するシステム構築についての話がありました。



た。これからの医療は、加速する超高齢化社会への対応と患者様の視点に立った安全・安心で質の高い医療が求められており、各病院が「地域完結



型の医療」を目指し、地域住の望む適切な医療サービスを提供する事が求められています。当院はすでに基本方針のひとつとして「完結型医療 地域の医療機関との連携を行い安心できる医療の展開」を掲げてありますが、今回の学会はその必要性を再認識する機会となりました。

最後になりますが、夢に見た金沢は、雨と雷で私達を優しく迎え、早起きで疲れた私達をより一層元気にさせてくれたものでした。

がん放射線療法看護認定看護師 樋口 和美

消防訓練・健康保険人吉総合病院フェスティバル Vol.5

10月28日(日) 人吉下球磨消防組合 中央消防署の方の立会いの下、火災を想定して、実際に担架等を使った患者搬送訓練と消火栓・消火器を使った消火訓練を実施しました。

訓練終了後、11時からは第5回目の病院フェスティバルを開催しました。今年も昨年同様、新病院建設のため外来棟及び予防医療センター棟での開催となりました。訓練時に降っていた雨もフェスティバルを開催する頃には見事に上がり、およそ400名の方にご来場頂きました。

今年は初の試みとして、4ヶ所のスタンプ設置ブースを準備し、全てのスタンプを集めた来場者にわたがしをプレゼントするスタンプラリーを行いました。スタンプラリーを完成させた来場者は140名と、たくさんの方々にスタンプを完成させてもらうことができました。子どもたちがスタンプを必死に探して、元気いっぱい院内を探索している姿がとても印象的でした。

また、今年は『吸わない人も知ってほしいタバコの話』という演題で、当院循環器内科の名幸久仁 Dr.を講師による特別健康講座が開かれました。タバ

コがどのような害を及ぼすのか、子どもたちにどのような影響があるのかなど話され、改めてタバコについて考える機会になったのではないかと思います。

その他は毎年恒例の無料プチ検診をはじめ、同じく恒例のバザーの開催。それぞれの部署が特色を用いて、唾液を使ったストレスチェックや血圧・血糖測定、心理テスト、DMAT チームの紹介コーナー、ボランティアの方々の協力も得てアロマで石鹸を作るコーナー等々それぞれ工夫された催しが展開されました。予防センター前ブースでは、焼き芋、アイス販売、緊急避難協力会ボランティアの手作りカレーや、近隣飲食店のうどん・焼き菓子・フライドチキンなどがあり大盛況でした。また陶芸品販売コーナー、五木村物産展などバリエーション豊かなものとなりました。たくさんの方々に楽しみながら当院のことを知っていただける機会になったのではないかと感じました。

今回、ご協力いただきましたボランティアの皆様、近隣の地域商店の皆様には心より感謝申し上げます。これからも地域の皆様に安心していただけるような医療を提供できるよう努めて参ります。

病院フェスティバル実行委員 畑田 惣一郎



担架搬送訓練



消火栓訓練



内視鏡体験



DMAT 紹介



名幸 Dr による講演

心臓カテーテル検査3000件 記念式典を挙げて

本県では臓器別専門診療科の先駆けとして昭和58年、熊本大学医学部附属病院に循環器内科が設立されましたが、当院も平成2年、熊本大学循環器内科出身の尾畑憲司先生と箕田耕太郎先生が赴任し、循環器科として診療を開始いたしました。血管造影室の整備により、平成4年12月より心臓カテーテル検査（以下心カテ）を開始しました。隣県の宮崎県えびの市や鹿児島県伊佐市などに心カテができる施設がないため、当院地域連携室と協力して当科の診療内容を案内しましたところ、救急も含めてご紹介の患者さんが増加し、心カテの件数も伸びてまいりました。

心カテ開始後20年目にあたる本年8月に3000例目の心カテを施行しました。熊本市内の有名病院とは比較にならない程度の数ではありますが、都会から遠く離れ、人口は減少し高齢化・過疎の進む当地域にあって循環器診療を少ないスタッフで地道に続けた結果であり、「継続は力なり」と実感した次第です。

心カテ3000件を記念して、10月27日にあゆの里で記念の小宴を催しました。医療関係者94名（院内40名）のご出席をいただき、華やかなパーティとなりました。木村院長、岡啓嗣郎先生、高田大起先生、蓑田先生、大嶋秀一先生（熊本中央病院副院長）、田



山信至先生（熊本大学医学部附属病院循環器予防医学寄附講座准教授）のご挨拶をいただき、余興としてエナジープレス（地元のエアロビクスチームの皆さん）の元気あふれるパフォーマンスを披露し、多いに盛り上がりました。そして、中村憲和さま（人吉下球磨消防組合消防長）の万歳三唱で会を締めました。

会の中では、たくさんの方々からねぎらいや激励のお言葉を頂戴し、心より感謝申し上げます。今後も微力ではございますが、地域医療を継続して住民の皆さまのお役に立ちたいと存じます。最後になりましたが、本式典の準備に奔走していただきました準備委員の皆さんに、この場を借りまして御礼申し上げます。

心臓カテーテル検査3000件記念式典準備委員会

名幸久仁、渡辺朋子、岩崎ユリ、松本美保、濱田真理
山田一裕、坂口美樹、金栗由佳、寺井香奈、岡 秀樹

循環器科 部長 岡 秀樹

ブレストケアチーム活動報告

2012年11月8日老神社会館で、乳がん患者会ひまわり会を開催いたしました。

今回のテーマは「乳がんの薬物治療」で、乳がんの薬物療法について外科水元孝郎先生の講義を行いました。治療の内容に関する講義は難しい専門用語も含まれますが、参加者の方は、分からない事や日常生活での疑問点などを医師、乳がん療法認定看護師に積極的に質問をされていました。

当院は2003年より患者様向けの勉強会を開始し、ひまわり会として活動を始めて今年で6年を迎えます。

今回、その活動に対しNPO法人ハッピーマンマより、助成金を頂きました。頂いた助成金は、乳がん触診モデル購入に充て、各種イベントなどを通し多くの方に触診体験をして頂く予定です。

乳がんは医療機関での検診はもちろん、自己検診も早期発見に非常に有効です。自分の身体に関心を持っていただき、乳がんの早期発見に役立てていく所存です。

ブレストケアチーム



お知らせ

12月15日(土)人吉カルチャーパレス小ホールにおきまして、健康保険人吉総合病院第14回研究発表会を開催致します。14時より開催のヨーガ講演につきましては16時～講演予定で、参加費無料・院外の皆様もご自由にお入りいただけます。

また、研究発表会後は「清流山水花 あゆの里」に会場を移し、総親会忘年会を行います。職員の皆様他、多数御参加下さい。

第14回 健康保険人吉総合病院研究発表会プログラム

2012.12.15 於：人吉カルチャーパレス

開会式 14:00～

No	演題名	演者
第1セッション		
1	乳がん術前にPET画像から多発病変を同定出来た一例	御手洗理代
2	血液検査結果の異常値から迅速に血液内科コンサルトに至った症例	諸見 梓
3	五木村診療所歯科と良好な診療連携を形成した口腔外科疾患症例	石神 哲郎
第2セッション		
4	スタッフの乳房ケア手技習得への取り組みについて	石田 貴子
5	人口関節全置換術後におけるコールドバック固定法の工夫 ～サポーターの作成を試みて～	吉田菜都望
6	院内における副作用発生状況と新しい病棟業務体制による安全な薬物療法の支援	上野 直哉
7	診療報酬改定に伴うICTの地域連携活動の実際と課題	別府 るみ
第3セッション		
8	予約センターが関与した救急室利用患者についての現状調査	吉村 千秋
9	未収金訴訟について	前田 克美
10	医学修士を取得するまでの道のり —久留米大学バイオ統計センター 苦悩の2年間—	岩崎 ユリ
第4セッション		
11	海外研修報告	尾方 千恵 西山 三智

【特別講演】 16:00～17:30

「ヨーガによる統合的な健康実現を目指して(仮)」

日本ヨーガ禅道友会教師
(社)日本ヨーガ療法学会認定ヨーガ療法士
菊池 純子 先生



閉会式

緩和ケア病棟 ^{せせらぎ} (瀬音) 実習

今回、9月18日から4週間にわたり、健康保険人吉総合病院緩和ケア病棟で実習をさせていただきました。緩和ケア病棟での実習に際し、病院職員の方々ははじめ、患者さま・ご家族の方には、快く学生を受け入れていただいたことを深く感謝しています。

実習中は、患者さま・ご家族との関わりを通して、自分にできることは何だろう、どうしたら気持ちよく過ごしてもらえらるだろう、と悩みました。私たち看護師にできることは、患者さまやご家族の思いに触れ、ともに喜び、ともに悲しみ、同じ時を共有することです。その中で信頼関係を築くことができ、苦しみの緩和への援助につながるのだと改めて学びました。認定看護師の学生として実習に臨んだ私ですが、毎日の実習で学んだことは“初心に戻る＝看護の基本を思い出す”ことでした。何事にも丁寧な看護を、と簡単に言いますが、日々の仕事で忘れて

いた大事な心を、今回の実習で取り戻すことができたと思っています。実習を終え数日が経ち、思い出すことは、毎日新しいことを学べる自分の変化に、楽しく勉強できたという充実感です。

毎朝、球磨川州域に広がる朝霧を見ながら病院に通いました。日が昇るとともに晴れ渡っていく朝霧を眺め、患者さまの苦痛もこのように晴れ渡りますように、とっていました。患者さまの苦しみを少しでも取り除こうと日々頑張っている緩和ケア病棟スタッフの皆さまのように、私も頑張りたいと思いました。

久留米大学認定看護師教育センター

緩和ケア分野 学生 新留 咲子 (下段中央)



人吉総合病院テニス部紹介♪

『あざーす』Dr. 荒川の爽やかな召集電話により、テニス部の活動は始まります。

胸川沿いの閑静な住宅街にある病院寮横にある夜間照明完備の職員用テニスコートで週1～2回、19時から21時の間練習をしています。

19時の練習時間になると、その時刻を待ちわびたようにコートに部員が集まりだし、各自準備運動を済ませた後基礎練習にとりかかります。それから20時までの間、三々五々集まってきた部員で、活気をおびた練習が始まるのであります。練習は、殆どがダブルスの試合形式での実践で、初心者も経験者とのペアでコートへと出て試合を楽しみ、終了の時刻までの時を過ごします…。

ともかく一度参加してみてください。

とにかく楽しく身体を動かすのがもっとーのテニス部、部員の中には初心者も多く、気軽に参加できます。

テニス部の重鎮Dr. 荒川をはじめ、いつもフルスイングDr. 上原、クールガイDr. 並河、人吉総合の

錦織圭Dr. 武藤、フレームショットの匠日當、写真家(?) 浜津、その他今年度入職した新人を含む面々が集まり、和気藹々、楽しく汗を流しています。

これからの季節、夜間の野外活動ということで、なかなか参加者が集まらない日も多くなりますが、テニスに興味のある方はお近くの部員に声をかけてください。医局、放射線部、薬局、検査室、医事課 あなたの近くにテニス部員はいます。練習日、飲み会には院内メールで情報配信いたします。

医事課 日當 幸治



物故者合同慰霊祭

11月6日(火) 田中香花堂人吉斎場にて、人吉総合病院物故者合同慰霊祭が行われました。

ご遺族の方々ならびに職員が参列し、平成23年10月1日～平成24年9月30日までに当院でお亡くなりになられた333名の方々のご冥福をご遺族の方とともに祈りました。



年代別統計にみていきますと昨年同様、70歳から80歳の方が亡くなられた方の約7割が占め、地域の高齢化の背景が伺えました。疾患別では今年も悪性疾患が約半数を占め、次いで呼吸器系疾患、循環器系疾患の順となりました。

このような現状を受け止め、地域の中核病院としてこれからも全人医療を提供し、地域の皆様から選んで頂きたいだけの病院を目指し、努めてまいります。

社会福祉士 田頭 隼人

病院建替え工事 進捗レポート

No. 8
情報企画課



南側から (11/14)



北側から (11/14)

11月に入り、工事はおおかたの鉄骨建方が終了しました。皆さまにも新病院の姿・形をご覧いただけていることと思います。今回は耐震（『耐震』『制震』『免震』）について、それぞれの特徴を示しました。当院はこのうち『制震』構造を採用しています。

【耐震】	【制震】	【免震】
建物の粘りや強さを補強し、建物に加わった地震力に耐えるもの	建物に加わった地震力を制震装置で弱め、やるもの	建物そのものに加わる力そのものから免れる（絶縁）ことで建物の揺れそのものを大幅に低減するもの
<ul style="list-style-type: none"> 地震の揺れが直接建物に伝わる。 強風(台風)ではほとんど揺れない。 地震のたびに建物の損傷が進む。 免震と比較して格段に家具が転倒する。 軟弱地盤の制約はほとんどない。 地下室などの設置制約はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地震の揺れが直接建物に伝わるが、2階から上の揺れが軽減される。 強風(台風)ではほとんど揺れない。 建物損傷については、制震装置が建物の揺れ(振動エネルギー)を吸収するので、建物全体ではほとんど損傷しない。 家具転倒は2階から上が軽減される。 軟弱地盤の制約はほとんどない。 地下室などの設置制約はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地震の揺れは直接伝わらない。 強風(台風)のときは2階から上が揺れる。 建物が大きく揺れないので、建物の損傷が大幅に軽減される。 家具転倒は、階数を問わず大幅に軽減。 軟弱地盤では設置が困難。 地下室の設置は困難。



制震部材：
アンボンドブレース

当院の制震構造（写真）

耐震・免震・制震構造の違い



耐震
揺れに耐える



制震
揺れを吸収



免震
揺れから切り離す

クリスマスイルミネーション

毎年クリスマス1ヶ月頃前より、院内にイルミネーションを飾っております。今年も小児病棟のディルムから一番見やすい管理棟上にツリーやサンタ、トナカイ等のイルミネーションを設置しております。

また、各病棟にはクリスマスツリーを設置しており、入院中少しでもクリスマスの気分を感じて頂ければと思います。



車椅子寄贈

人吉新聞社 石蔵尚之社長より車椅子をはじめ、ベッド・シャワーチェア等たくさんの寄贈を頂き、10月25日 全体会議において感謝状を贈らせて頂きました。

誠に有り難うございました。大切に使用させていただきます。





笑って健康促進！
第82回 翔幻会開催！

平成二十四年十一月開催分の句をご紹介します。
どうぞご鑑賞下さい。

川柳句会「翔」平成二十四年十月分

- たたずめば妻もまた花花の路 章子
- ブランコで青空けてって気がはれる 章子
- 晴と聞く朝からはしゃぐ洗濯機 章子
- 青空を高くおしあげ赤とんぼ 章子
- 泣き声で命令をするペビイちゃん 章子
- 秋日和もう日なたぼっこしたくなる 地内レイ
- かかし立つご苦労さんと声かけて 地内レイ
- 十五夜に青い光を放つ月 地内レイ
- 背にウチワ赤い帯締め山鹿おどり 地内レイ
- 草取りもやり始めたらやめられない 保義
- 布団干し我打たれるとそっと逃げ 保義
- つぼん汁くんち祭りは主役なり 保義
- 親犬のおなかさすりていい子産め 保義
- 人吉のお祭り囃子風にきく 佐津子
- くまもんに出合っって見たい繁華街 佐津子
- 空を見て生姜輪切りに天日干し 佐津子
- 新米の味と香りが食そそる 佐津子

次回は平成二十四年十二月六日(木)十四時から
予防医療センター二階の図書コーナーで開催致しま
す。
ご自由にご参加下さい。投稿のみの参加もできま
す。院内設置の投稿箱にご投稿下さい。

新 任 紹 介



ふちた えみこ
涸田 江身子 (内視鏡室 看護師)

最終卒業校：健和看護学院

趣味：雑貨屋さんでかわいい小物を見つける事
好きな言葉：笑う門には福来る

自分のコマーシャル：2年半ぶりの職場復帰でドキドキして
いますが、どうぞよろしくお願ひします。



みやはら まりな
宮原 麻理菜 (5階東・医療クラーク)

最終卒業校：福岡県立宇美商業高等学校

趣味：ショッピング

好きな言葉：一期一会

長所：前向き

短所：優柔不断

自分のコマーシャル：初めての病院での勤務ということで
いろんな迷惑をお掛けすると思います。精一杯頑張ります
ので、宜しくお願ひ致します

ご来院の皆様へおねがい

インフルエンザが流行って
くる季節となりました。

当院では研修棟入口とICU
前にマスク販売機を設置して
おります。(100円2枚入)

手洗い・うがい・マスク着
用で感染予防を心がけましょ
う。



ICT感染対策ニュース

インフルエンザワクチン接種について

今年もインフルエンザシーズンとな
りました、ワクチン接種は終わりましたか？



インフルエンザはインフルエンザ
ウィルスを病原微生物とする気道感染症で、感染性・
病原性の強さから病院においては集団発生に注意し
なければなりません。

日本のインフルエンザの流行は12月下旬から3
月上旬が中心になるため、12月上旬までにワクチ
ン接種を完了することが勧められています。インフ
ルエンザワクチンは、接種からその効果が現れるま
で通常約2週間程度かかり、約5ヶ月間その効果が
持続されます。

自身の健康を守り、よりよい医療を提供するため
にワクチン接種をしましょう。

◇日常的な予防策

うがい

手洗い

咳エチケット



日頃から手洗いをはじめとするスタンダードプリ
コーションの実践を徹底することは、感染対策の基
本です。

感染管理室 CNIC 別府 るみ

職員の皆さんへお知らせ

今年も早いもので、残すところ1か月となりました。年末
を迎えるにあたり、病院のこと、現場のこと、
個人的なこと、その他なんでもいいですので、
病院長に手紙(メール)を下さい(病院長以外
には読みません)。返事は必ず出します。たく
さんのメール、待っています。

